

社会感度の高い人財育成

NECは、ビジネスの最大の経営資源は「人」であり、お客さまや社会に真の価値を提供するためには、「社会感度の高い人財の育成」が重要であると考えています。

これを、ESG視点の経営優先テーマ「マテリアリティ」のひとつと位置づけ、社会課題を知る教育プログラムの拡充や、異なる価値観・文化を理解し受け入れる、インクルージョン&ダイバーシティを推進しています。また、一人ひとりの力を最大限に引き出し、やり抜く組織の実現に向けた人事制度改革や働き方改革にも取り組んでいます。

社会感度の高い人材育成のためのプログラム

NECでは、次世代のリーダー育成を目的に、2016年度から当社会長が塾長を務める研修プログラム「NEC社会価値創造塾」を実施しています。

当年度の経営・幹部候補生向けプログラムには国内外から32人が参加し、当社の存在意義や社会価値創造について追究し、経営構想を考え抜きました。

現場リーダー向けプログラムでは、94人が20チームに分かれ、社会価値創造につながるビジネスモデルを作成し、実際の現場において仮説検証を行いました。

次年度は、全従業員を対象にした「社会課題体感型人材開発プログラム“Sense”」を新設し、より幅広い層の従業員に社会課題を学ぶ機会を提供していきます。

変革イニシアチブ「Project RISE*」始動

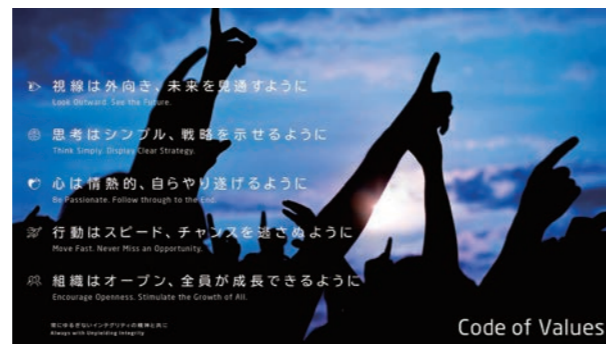
一人ひとりの力を最大限に引き出し、やり抜く組織の実現に向け、経営や戦略、組織の在り方、従業員の価値観や行動の抜本的な変革を担うイニシアチブ「Project RISE」を2018年に立ち上げました。

時代に合った行動基準「Code of Values」を策定し、成果だけでなく行動面にもフォーカスしたフェアな人事評価・育成制度の仕組みを整備したほか、社長が、国内および海外主要拠点にて延べ1万人以上の従業員と直接対話をし、変革の重要性を唱えとともに従業員の問題意識や変革アイデアに耳を傾けました。

また、現場レベルで削減可能な仕事を決め、各組織で半年間、徹底して無駄の排除に取り組むことで業務効率化を実現したり、イノベティブな働き方を推進することで「会社の成長」と「従業員の成長・幸せ」を目指す、スマートワークの実現にも積極的に取り組んでいます。さらに、3カ月に1度、従業員の変革に対する実感値をサーベイで収集し、従業員の声を反映した変革を推進しており、今後も従業員やお客さまなどさまざまなステークホルダーの声に耳を傾け、変革を加速していきます。



社長と従業員による対話の様子



Code of Values

* Project RISEとは、NECグループの社内変革プロジェクトの総称です。

インクルージョン&ダイバーシティの推進

NECは、事業活動のみならず会社の制度や研修機会をとおして各自の能力・経験値を上げ、相互を高め合い成長できる文化を創り、事業成長への貢献を目指すインクルージョン&ダイバーシティを推進しています。

この一環として、当社では、1985年の男女雇用機会均等法の制定以前から、性別を問わない人材採用と登用を進めており、新卒採用に占める女性の比率は約30%となっています。

グローバルに活躍する若手社員

「NECの技術を世界に広め、社会課題解決に貢献したい」

NEC グローバル事業推進本部 佐伯 明莉



入社1年目に、アフリカの電子マネー基盤や、バングラデシュの主要空港の顔認証の導入支援を担当したのち、現在は、国連工業開発機関（UNIDO）や国際移住機関（IOM）などの国際機関、同機関が支援する相手国政府と、私たちNECの3者間のコーディネーターとして、まさにSDGsの目標17「パートナーシップで目標を達成しよう」を体現する仕事を担当しています。

国際機関のプロジェクトは、関係するステークホルダーが多く、イニシアチブをとってプロジェクトを進めていく力が求められます。私が所属する部門は、年齢や性別、国籍に関係なく、一人ひとりがさまざまな仕事にチャレンジできる文化があります。私も、先日、UNIDO本部で開催されたJapan Weekにおいて、NECと国際機関との連携事例についてプレゼンテーションをするという大役を任せられました。

これからも、さまざまなパートナーの皆さまと連携し、NECの技術やソリューションを世界に広め、社会課題解決に貢献していきたいと考えています。

インクルージョン&ダイバーシティを実体験

NECボッチャ部

重度脳性麻痺者や、同程度の四肢重度機能障がい者向けに考案され、パラリンピックの正式種目となっているボッチャは、老若男女、障がいの有無にかかわらず、すべての人がともにプレイできるスポーツです。

NECボッチャ部は、パラリンピックスポーツとインクルージョン&ダイバーシティへの理解を深めることを目的に、2017年に設立した企業内クラブです。

当年度は、誰でも参加可能で、日本代表「火ノ玉ジャパン」も出場する「ボッチャ東京カップ」に出場し、日本代表A、B2チームのうちBチームを下し、準優勝しました。今後もボッチャ部の活動を通じて、一人ひとりの個性を尊重し、相互を高め合い成長できる文化を創るインクルージョン&ダイバーシティを推進していきます。



「ボッチャ東京カップ」で準優勝

詳しくはサステナビリティレポート2019「人材開発・育成」「インクルージョン&ダイバーシティ」「多様な働き方への環境づくり」をご覧ください。